

令和 9 年度
兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科
(後期 3 年のみの博士課程)

学 生 募 集 要 項

構 成 大 学

兵 庫 教 育 大 学
上 越 教 育 大 学
岐 阜 大 学
滋 賀 大 学
岡 山 大 学
鳴 門 教 育 大 学

出願期間	試験日		合格発表	入学手続期間
	オンライン接続 チェック	口述試験		
令和8年12月2日(水) ～12月8日(火)	令和9年1月25日(月)～ 1月28日(木)	令和9年2月14日(日)	令和9年2月19日(金)	令和9年3月2日(火)、 3月3日(水)

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科

〒 673-1494 兵庫県加東市下久米 942 - 1
電 話 (0795) 44-2067(兵庫教育大学入試課)

本募集要項は紙媒体では発行しません。
本学の web ページ (<https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/doctor/request.php>)
からダウンロードいただけます。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

連合学校教育学研究科(博士課程)は、兵庫教育大学を基幹大学とし、上越教育大学、岐阜大学、滋賀大学、岡山大学及び鳴門教育大学の6大学が連合して構成している後期3年のみの博士課程であり、実践に根ざした学校教育学を独自の学問分野として確立し、今日の教育課題の解決と学校教育の質的改善・改革に貢献することを目的とします。

本研究科は、学校教育実践について高度で専門的な研究を行い、学校教育実践学及び教科教育実践学の分野において、自立して研究・実践できる研究者及び専門職教育者を志向する人材を求めます。

入学前に身に付けておくべきこと

- ・研究・実践を遂行するための十分な専門的知識を有すること
- ・研究・実践を遂行するうえで必要な深い理解力・洞察力を有すること
- ・自らの問題意識に基づき、学術的観点をもって主体的・積極的に研究を遂行する能力を有すること

入学者選抜の基本方針

連合学校教育学研究科(博士課程)のアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に基づき、研究分野に関する専門的知識や理解力・洞察力などを備え、研究を遂行する能力を有しているかを総合的に判断できる試験及び成績証明書の審査の結果を総合して入学者を選抜します。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

連合学校教育学研究科(博士課程)は、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格して、教育実践学の研究を自立的、協働的に遂行する資質・能力を有することが認められた者に博士(学校教育学)の学位を授与します。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜のほか、入学手続業務、入学料免除の選考及び奨学金貸与の選考に使用し、これ以外の目的に用いることはありません。

ただし、個人を特定しない形で統計的な調査に使用する場合があります。

目 次

令和 9 年度兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学生募集要項

1. 専攻別学生募集人員	1
2. 出 願 資 格	1
3. 出 願 手 続	2
4. 選 抜 方 法	5
5. 試 験 の 日 程	6
6. 合格者の発表	6
7. 入 学 手 続	7
8. 出願資格に関する注意の詳細	8
9. その他の留意事項	10
10. 主指導教員となり得る者の教育研究分野一覧	11
11. 学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和 6 年法律第 69 号）について	20
12. 不正行為に関する注意事項について	20
＜付録＞令和 8 年度入学試験実施状況	21
（参考）受験から修了までの経過図	22
問い合わせ先等	23

入 学 者 選 抜 関 係 日 程 一 覧		
出 願 期 間		令和 8 年 12 月 2 日（水）～12 月 8 日（火）〔必着〕
試験日	オンライン接続チェック	令和 9 年 1 月 25 日（月）～1 月 28 日（木）のうち、大学（連合講座）が指定した日時
	口述試験 （オンライン面接）	令和 9 年 2 月 14 日（日） ^{（注1）}
合 格 者 の 発 表		令和 9 年 2 月 19 日（金） 午前 10 時 ^{（注2）}

（注 1） 本学の通信環境の不具合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（令和 9 年 2 月 21 日（日））に試験を実施することがある。

（注 2） 予備日に試験を実施する連合講座があった場合は、全ての連合講座の合格者を令和 9 年 2 月 26 日（金）午前 10 時に発表する。

1. 専攻別学生募集人員

専 攻	連 合 講 座	募 集 人 員
学校教育実践学	学校教育方法 学校教育臨床	12 人
先端課題実践開発	先端課題実践開発	6 人
教科教育実践学	言語系教育 社会系教育 自然系教育 芸術系教育 生活・健康系教育	18 人
合 計		36 人

2. 出願資格

次の(1)から(7)のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和 9 年 3 月までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設置された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月までに授与される見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- (7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達したもの及び令和 9 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

（注） 出願資格(6)又は(7)により出願しようとする者は、8 ページの「8. 出願資格に関する注意」により、別途出願資格認定のための審査を受けなければならないので注意すること。

3. 出願手続

インターネット出願サイトで出願登録した上で、出願書類を郵送する方法により出願すること。

(1) 出願書類等 *提出された書類は返却しない。

	書類等	提出 部数	提出該 当者	摘要
①	入学志願票 出願サイトから出力	1 部	全員	出願サイトから所定の様式（A4 判）で出力すること。
②	修了（見込み） 証明書 （出願時点で発 行日が1年以内 のものに限る）	1 部	全員	出願資格にかかわるもの。 （大学院修士課程又は専門職学位課程を修了した者又は 修了見込みの者は、出身大学院の学長又は研究科長が作 成したもの） なお、⑤修士論文等の提出先大学発行のものであること。
③	成績証明書 （出願時点で発 行日が1年以内 のものに限る）	1 部	全員	出身大学院の学長又は研究科長が作成した大学院修士課 程又は専門職学位課程の成績証明書を提出すること。 なお、⑤修士論文等の提出先大学発行のものであること。
④	履歴書 本学 web サイトから ダウンロード	1 部	全員	所定の様式（A4 判）によること。
⑤	修士論文等 表紙については本学 web サイトから ダウンロード	1 部	全員 （摘要欄 ア～ウの いずれか によるこ と。）	⑤及び⑥の表紙については所定の様式（A4 判）による こと。 （日本語で書かれたもの以外は、日本語訳を作成の上、 併せて提出すること。） ア．修士課程・専門職学位課程修了者 a. 修士論文（写）又は修士課程・専門職学位課程に おける研究の成果（写） b. 上記 a の概要（A4 判の用紙を使用、日本語の場合 は 2,000 字程度、英語の場合は 1,000 語程度） イ．修士課程・専門職学位課程修了見込みの者 a. 修士論文〔予定〕（写）又は修士課程・専門職学位 課程における研究の成果〔予定〕（写） b. 上記 a の概要（A4 判の用紙を使用、日本語の場合 は 2,000 字程度、英語の場合は 1,000 語程度） ウ．上記以外の者（※ 1） a. アに準拠した「修士の学位相当の論文」（写）又は 研究の成果（写） b. 上記 a の概要（A4 判の用紙を使用、日本語の場合 は 2,000 字程度、英語の場合は 1,000 語程度）
⑥	修士論文等の 概要 表紙については本学 web サイトから ダウンロード	8 部 （※ 2）		

⑦	同意書 本学 web サイトからダウンロード	1 部	在職のまま出願する者	1. 所定の様式によること。 2. 現に在職している所属の長又は代表者の同意書 (出願後、入学までに退職を予定している場合は、同意書の代わりにその旨を申立書(任意様式)に記載すること。)
⑧	主指導教員予定者の承諾書 本学 web サイトからダウンロード	1 部	全員	1. 所定の様式によること。 2. 希望する主指導教員予定者と事前に打合せを行い、承諾を得ること。
⑨	出願資格認定審査結果の写し	1 部	出願資格認定審査により出願を認められた者	本研究科が通知した審査結果の写しを提出すること。
⑩	研究計画書 表紙については本学 web サイトからダウンロード	8 部 (※2)	全員	表紙については所定の様式によること。
⑪	研究業績一覧 本学 web サイトからダウンロード	8 部 (※2)	全員	所定の様式によること。
⑫	在留カードの写し等	1 部	日本に在住する外国籍の者	日本に在住する外国籍の者は、次のいずれかの証明書等を提出すること。 ア. 在留カード両面の写し(在留資格・在留期間を明記したもの) イ. 住民票の写し ウ. 入国査証の写し(記載事項のあるすべてのページ)
⑬	国費外国人留学生証明書	1 部	国費外国人留学生	在籍している大学発行の国費外国人留学生証明書を提出すること。
⑭	検定料 (30,000 円) ※支払時に別途手数料が必要	－	全員 (但し、国費外国人留学生及び(※3)に該当する者を除く。)	出願サイトから支払うこと。 ※大規模な自然災害で被災された方を対象に、令和9年度入学試験にかかる検定料免除の特別措置を講じます。詳細については、次の Web ページをご覧ください。 https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/kenteiryomenjyo.php

(注1) 出願書類の記入に当たっては、顔写真も含め真正なものに限り、虚偽・加工であった場合は不正行為として扱う。

(注2) 出願書類のうち、日本語以外で記載されている全ての書類には、日本語訳を添付すること。

(注3) 複数枚ある提出書類についてはページを付すこと。

(※1) 大学院設置基準第16条の2若しくは学位規則第3条第2項の規定により、修士の学位若しくは専門職学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者、又は学校教育法施行規則第156条第5号により、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者を含む。

(※2) 提出書類のうち、⑥、⑩、⑪については、クリップ留めの原本1部、ホチキス留めのコピー7部を提出すること。なお、⑥、⑩については表紙を含め、コピーすること。

(※3) 兵庫教育大学、上越教育大学、岐阜大学、滋賀大学、岡山大学及び鳴門教育大学の大学院修士課程又は専門職学位課程を令和9年3月に修了見込みの者で、本研究科に引き続き進学するものは、徴収しないものとする。

(2) 出願方法

志願者は、市販の角形 2 号封筒 (24cm×33.2cm) に出願サイトから出力した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付け、出願書類を一括し、出願期間内に必着するよう必ず「書留」により郵送し、出願すること。

なお、書類の分量が多く、封筒を使用できない場合は、受取の配達記録が残る方法（レターパックプラス等）により郵送すること。

ア. 出願期間

令和 8 年 12 月 2 日（水）～ 12 月 8 日（火）（必着）

（注 1）外国から出願する場合も、出願期間内に必着とする。

（注 2）受験票等は、1 月 22 日までに、出願サイト上で公開する。

受験票が公開されると、その旨を登録したメールアドレス宛に送信するため、次のドメイン「@ e-apply」を受信可能な状態に設定しておくこと。

1 月 25 日（月）までに確認できない場合は、問い合わせること。

なお、受験票はオンライン接続チェックまでに印刷し、保管しておくこと。

イ. 出願書類等の提出先

〒 673-1494 兵庫県加東市下久米 942 - 1

兵庫教育大学入試課 電話 (0795) 44-2067

4. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、次の方法により行う。

ア. 事前課題

今年度は、事前に提出する課題は課さないこととする。

イ. 口述試験（オンライン面接）

下表のとおり行う。

なお、自然系教育、芸術系教育及び生活・健康系教育連合講座については、口述試験（オンライン面接）時に資料を用いた説明も可能とする。

連 合 講 座	口述試験（オンライン面接）の内容	口述試験（オンライン面接）時における資料を用いた説明の可否（※）
学 校 教 育 方 法	・研究計画及びこれまでの研究内容等を中心に行う。 ・受験者の研究計画に関連する外国語文献（1編）の内容に関する質疑応答を行う。したがって、研究計画書末尾の文献一覧に、質疑応答の対象となりうる日本語・母語以外の外国語文献を1編以上記載のうえ、その文献に下線を引くこと。なお、質疑応答の対象となる外国語文献は、翻訳が刊行されていないものに限る。翻訳がある外国語文献には下線を引かず、翻訳の出典も必ず記載すること。	否
学 校 教 育 臨 床	・研究計画及びこれまでの研究内容等を中心に行う。 ・事前に配付した英語論文の内容に関する試問を行う。	否
先端課題実践開発	・研究計画及びこれまでの研究内容等を中心に行う。	否
言 語 系 教 育	・研究計画及びこれまでの研究内容等を中心に行う。	否
社 会 系 教 育	・研究計画及びこれまでの研究内容等を中心に行う。	否
自 然 系 教 育	・研究計画及びこれまでの研究内容等を中心に行う。	可
芸 術 系 教 育	・研究計画及びこれまでの研究内容等を中心に行う。	可
生活・健康系教育	・研究計画及びこれまでの研究内容等を中心に行う。	可

(注) 口述試験で語学力に関する試問を行わない先端課題実践開発連合講座、言語系教育連合講座、社会系教育連合講座、自然系教育連合講座、芸術系教育連合講座、生活・健康系教育連合講座においても、主指導教員予定者との出願前の面談時に、主指導教員予定者が個別に必要な語学力の確認を行う。

(※) 受験者が用意した資料の提示方法は、画面共有（カメラで画面に映すことを含む）により行う。

受験者1人当たりの口述試験時間は30分程度とする。（但し、受験者数により変更する場合がある。）
口述試験（オンライン面接）の詳細は、受験票公開時に通知する。

(2) 可否の最終判定は、口述試験（オンライン面接）及び成績証明書の審査の結果を総合して行う。

5. 試験の日程

オンライン接続チェック及び口述試験（オンライン面接）は、Zoom（Zoom Video Communications 社の提供するオンライン通話アプリケーション）を使用し行う。

静穏かつ安定したインターネット接続環境が維持できる場所（自宅等の個室）に必要な機器を設置し、通話により受験すること。（インターネットカフェ等の商業施設は不可）

また、接続環境を確認するため、事前に大学（連合講座）との間でオンライン接続チェックを実施する。なお、オンライン接続チェックは試験の一環として実施するので、オンライン接続チェックを欠席した場合は試験日の口述試験（オンライン面接）は受験を認めない。

- （注）
- ・機器の確保及び良好な接続環境の確保については、受験者の責任で行うこと。
 - ・試験を実施するにあたり十分な接続環境が確保されていることの判断は、面接委員が行う。面接委員の合議により、接続環境が充分でなく試験が続行できないとの判断が下された際には、試験を打ち切ることがある。
その場合は試験時間を最後にするなど、順番を入れ替えることがある。
- なお、受験者の過失等により試験の実施が不可能であることが明らかな場合は、当該試験の受験を禁止し、受験を無効とする。

試験時間は、受験票公開時に通知する。

試験日	オンライン接続チェック	令和9年1月25日（月）～1月28日（木） のうち、大学（連合講座）が指定した日時
	口述試験 （オンライン面接）	令和9年2月14日（日）

- （注1） 本学の通信環境の不具合や不測の事態により試験を中止した場合、予備日（令和9年2月21日（日））に試験を実施することがある。
- （注2） オンライン接続チェック及び口述試験の試験開始時刻までに入室していない場合、欠席として取り扱う。機器等のトラブルにより入室できない場合は、必ず試験開始時刻までに入試課へ連絡すること。
- （注3） 本人確認として、受験票のほか、パスポートなどの「写真付きの公的な身分証明書」による照合を行うこともあるため、オンライン接続チェック及び口述試験の際には手元に置いておくこと。

6. 合格者の発表

令和9年2月19日（金） 午前10時

（予備日に試験を行なった場合は令和9年2月26日（金）午前10時）

兵庫教育大学 Web サイト (<https://www.hyogo-u.ac.jp>) において、合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に対して通知する。

なお、本人あて通知をもって正式な通知とする。

（注） 可否に関する問い合わせには応じない。

7. 入学手続

入学手続はインターネット上で行う。

詳細については、出願時に登録されたメールアドレス宛に通知する。

(1) 入学手続期間

令和 9 年 3 月 2 日 (火) ・ 3 月 3 日 (水)

(2) 入学手続場所

兵庫教育大学学務課

(3) 納付金

入学料 (※) 282,000 円

授業料 前期分 267,900 円 (年額 535,800 円)

(注 1) 入学料及び授業料の額は、令和 8 年度納付額であり、令和 9 年度には改定になる場合がある。

(注 2) 前期分の授業料については、令和 9 年 5 月 1 日から 5 月 31 日までに納付すること。

(注 3) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

(※) 兵庫教育大学、上越教育大学、岐阜大学、滋賀大学、岡山大学及び鳴門教育大学の大学院修士課程又は専門職学位課程を令和 9 年 3 月に修了見込みの者で、本研究科に引き続き進学するものは、入学料を徴収しないものとする。

8. 出願資格に関する注意の詳細

1 ページの出願資格(6)及び(7)の詳細については、次のとおりである。

(6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達したもの及び令和 9 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

ただし、「個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」とは、次の基準を満たす者とする。

著書、学術論文等において、修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績（学会誌に掲載された学術論文等）を有すること。

なお、研究業績には、芸術系の作品発表等、体育系の実技歴等を含む。

上記のいずれかによって出願しようとする者は、出願書類を提出する前に、出願資格認定のための審査を受けなければならない。

出願資格認定審査の書類を提出する際には、希望する主指導教員と事前に打合せを行うこと。

（参考）兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科構成大学電話番号

兵 庫 教 育 大 学 入 試 課	(0795) 44-2067
上 越 教 育 大 学 入 試 課	(025) 521-3293
岐 阜 大 学 教 育 学 部 学 務 係	(058) 293-2206
滋 賀 大 学 教 育 学 部 入 学 試 験 係	(077) 537-7711
岡 山 大 学 教 育 学 系 教 務 学 生 グ ル ー プ	(086) 251-7605
鳴 門 教 育 大 学 入 試 課	(088) 687-6131

〔出願資格認定審査〕

1. 提出書類

書 類 等		概 要
①	入学試験出願資格認定申請書	所定の用紙によること。
②	履 歴 書	所定の用紙によること。
③	成 績 証 明 書	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したものを提出すること。
④	研 究 歴 申 立 書	所定の用紙によること。
⑤	研 究 業 績 書	表紙は所定の用紙によること。 修士の学位相当の論文の別刷又は研究の成果（写）を添付すること。 芸術系の場合は作品発表等、体育系の場合は実技歴等の内容を併せて提出すること。

（注）必要に応じて証明書等の提出を求めることがある。

※入学試験出願資格認定申請書等の用紙は個別に配付するので、申請する場合は兵庫教育大学入試課（TEL:0795-44-2067）へ連絡すること。

2. 提出方法

必ず「書留」により、郵送すること。

なお、書類の分量が多く、封筒を使用できない場合は、受取の配達記録が残る方法（レターパックプラス等）により郵送すること。

ア 提出期間

令和 8 年 10 月 6 日（火）～ 10 月 8 日（木）（必着）

イ 提出先

〒 673-1494 兵庫県加東市下久米 942 - 1

兵庫教育大学入試課

3. 審査方法

出願資格認定審査は、提出書類による審査を行い、更に必要な場合は、口述試問による審査を行う。

4. 口述試問の方法等

口述試問は、専門科目について所定の時間、質疑応答を行う。

5. 審査結果の通知

審査の結果は、後日通知する。

9. その他の留意事項

- (1) 出願書類提出後における記載事項の変更は一切認めない。
- (2) 出願書類等に不備があるときは、受理しないことがある。
- (3) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがある。
- (4) 出願書類及び検定料は理由の如何にかかわらず返還しない。
- (5) 障害等のある者で、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、10月30日(金)までに兵庫教育大学入試課に申し出ること。
- (6) 出願、その他本研究科に関する照会は、電話又はメール等によって兵庫教育大学担当課あてに行うこと。

(出願に関すること) 兵庫教育大学入試課

電話 (0795) 44-2067 E-mail : office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp

(その他研究科に関すること) 兵庫教育大学学務課連合大学院チーム

電話 (0795) 44-2038 E-mail : office-rendai-r@ml.hyogo-u.ac.jp

- (7) この募集要項に記載されていることについて一部変更が生じたときは、必要に応じて Web サイト等で通知等を行うことがあるので留意すること。

※出願書類を提出する際には、希望する主指導教員と事前に打合せを行い、必ず承諾を得ること。

ただし、11～19 ページの * を付した者を主指導教員に希望する場合は、令和 11 年 4 月 1 日以降の継続的な研究指導について確認すること。

なお、本研究科では、「研究指導の質」を担保する点から、主指導教員として研究指導を行う研究科学生数は、原則として 3 人までとしているので留意すること。

10. 主指導教員となり得る者の教育研究分野一覧

学校教育実践学専攻

学校教育方法連合講座

主指導教員氏名	所属大学	職 名	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
梶 井 一 暁	岡 山 大 学	教 授	教育学 (教育史)	教育史、特に日本教育史、人間形成文化史に関する研究
寺 澤 孝 文	岡 山 大 学	教 授*	教育心理学	特に記憶の長期持続性及びデータサイエンスと基礎系心理学の融合領域に関する研究
川 上 綾 子	鳴門教育大学	教 授	教育心理学	認知心理学、特に学習者の認知過程の解明とそれに基づく教育的支援に関する研究
三 宅 幹 子	岡 山 大 学	教 授	教育心理学	教育心理学、発達心理学、特に小・中学生の社会性の伸長や集団適応を促す教育実践に関する研究
三 沢 良	岡 山 大 学	教 授	教育心理学	教育心理学、特に学校組織及び教職員集団における協働と職能開発に関する研究
内 田 香奈子	鳴門教育大学	准教授	教育心理学	教育心理学、特に感情教育や、ストレスへの対処方法にかかわる心理学的研究
角 谷 詩 織	上越教育大学	教 授	発達心理学	発達心理学、特に小・中学生の適応を促す教育実践に関する研究
高 瀬 淳	岡 山 大 学	教 授	学校経営	教育行政学、特に学校の管理運営及び教育活動の改善を促進する教育行政制度の研究
安 藤 知 子	上越教育大学	教 授	学校経営	学校経営学、特に学校組織における教師の教育行為に関する研究及びその役割葛藤に関する研究
別 惣 淳 二	兵庫教育大学	教 授	学校経営	教育経営学、特に教師の職能発達と教師教育論に関する研究
熊 谷 愼之輔	岡 山 大 学	教 授	学校経営	地域教育経営、特に生涯学習の観点に立った学校・家庭・地域の連携による学校・地域づくりに関する研究
川 上 泰 彦	兵庫教育大学	教 授	学校経営	教育行政学、特に都道府県・市町村など地方レベルにおける教育政策の立案・実施や教育行財政に関する研究
大 前 敦 巳	上越教育大学	教 授	教育社会学	教育社会学、特に日本とフランスにおける文化資本伝達に関する研究
太 田 拓 紀	滋 賀 大 学	教 授	教育社会学	教育社会学、特に教師の職業的社会化、教員社会史、教師・生徒関係に関する研究
長谷川 哲 也	岐 阜 大 学	准教授	教育社会学	教育社会学、特に教師教育及び高等教育に関する理論的・実証的研究
今 村 光 章	岐 阜 大 学	教 授	教育内容・ 方法論	環境教育、特に幼児期の自然体験型環境教育カリキュラムの開発及び環境教育の理論研究
森 廣 浩一郎	兵庫教育大学	教 授	教育内容・ 方法論	教育工学、特に学習支援システムの開発と評価に関する研究
今 井 亜 湖	岐 阜 大 学	教 授	教育内容・ 方法論	教育工学、特に初等・中等教育を対象とした教材開発・学習環境構築及びカリキュラムの開発
小 川 修 史	兵庫教育大学	教 授	教育内容・ 方法論	教育工学、特に特別支援教育における ICT 活用と評価に関する研究
黒 田 昌 克	兵庫教育大学	准教授	教育内容・ 方法論	教育内容・方法論、特に小学校プログラミング教育、ゲーム・ゲーミフィケーション、教師教育に関する研究
松 田 充	兵庫教育大学	准教授	教育内容・ 方法論	教育方法学、特に授業研究、教授学、教師教育に関する研究

(注) 1 職名については、令和 8 年 10 月 1 日現在の職名を示す。

2 職名に * を付した教員は、研究指導を令和 11 年 3 月 31 日まで行う予定であることを示す。

学校教育実践学専攻
 学校教育臨床連合講座

主指導教員氏名	所属大学	職 名	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
藤 原 和 政	兵庫教育大学	教 授	教育心理学	学校心理学、特に児童生徒の学校適応を促進することを目的とした援助のあり方に関する研究
葛 西 真記子	鳴門教育大学	教 授	臨床心理学	特にジェンダーやセクシュアリティ、異文化、精神分析的自己心理学、カウンセラー養成に関する研究と実践
海 野 千畝子	兵庫教育大学	教 授	臨床心理学	臨床心理学、子ども虐待、特に被虐待児童の治療的介入に関する研究
宮 下 敏 恵	上越教育大学	教 授	臨床心理学	学校臨床心理学、特に教師のバーンアウトプロセス及びバーンアウト予防などメンタルヘルス対策に関する研究
片 山 美 香	岡 山 大 学	教 授	臨床心理学	乳幼児期の子育ち・子育て支援に関する研究
芦 谷 道 子	滋 賀 大 学	教 授	臨床心理学	臨床心理学、特に子どもの心身の問題に対する心理療法や、子どもに対する心理教育的アプローチに関する研究
小 倉 正 義	鳴門教育大学	教 授	臨床心理学	発達臨床心理学、特に親と子どものメンタルヘルス、発達障がい児者への支援に関する研究
佐田久 真 貴	兵庫教育大学	教 授	臨床心理学	臨床心理学、特に応用行動分析学／発達障害児・者支援に関する研究
池 田 浩 之	兵庫教育大学	教 授	臨床心理学	臨床心理学、特に認知行動療法、発達障害・精神障害のある者への就労支援に関する研究
伊 藤 大 輔	兵庫教育大学	教 授	臨床心理学	認知行動療法、特に医療・産業・教育領域における問題解決のための心理学的研究
古 川 洋 和	鳴門教育大学	准教授	臨床心理学	臨床心理学、特に行動療法、認知療法、認知・行動療法に関する研究
永 山 智 之	兵庫教育大学	准教授	臨床心理学	心理臨床学、特に力動的心理療法、コンバインド・セラピー、思春期・青年期の人格発達に関する研究
板 倉 憲 政	岐 阜 大 学	准教授	臨床心理学	臨床心理学、家族心理学、ブリーフセラピー（MRI・SFA）を基盤とする家族支援や被災者支援に関する研究
吉 利 宗 久	岡 山 大 学	教 授	特別支援教育に関する教育	特別支援教育学、特にインクルーシブ教育の法制と実践に関する研究
石 倉 健 二	兵庫教育大学	教 授	特別支援教育に関する心理	障害児心理学、特に肢体不自由や重症心身障害、協調運動困難のある子どもの発達と家族の支援に関する研究
岡 村 章 司	兵庫教育大学	教 授	特別支援教育に関する心理	障害児心理学、特に自閉症児及びその保護者に対する応用行動分析に基づく支援に関する研究
大 守 伊 織	岡 山 大 学	教 授	特別支援教育に関する生理	小児神経学、特に小児期に発症する神経・精神疾患の生理・病理に関する研究
伊 藤 弘 道	鳴門教育大学	教 授	特別支援教育に関する生理	小児神経学、特に発達障害児の心理・生理・病理に関する研究

(注) 1 職名については、令和 8 年 10 月 1 日現在の職名を示す。
 2 職名に * を付した教員は、研究指導を令和 11 年 3 月 31 日まで行う予定であることを示す。

先端課題実践開発専攻
先端課題実践開発連合講座

主指導教員氏名	所属大学	職 名	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
池 田 誠 喜	鳴門教育大学	教 授*	教育心理学	生徒指導学及び学校心理学、特にレジリエンスとスクールエンゲージメントを活用した教育支援に関する研究
吉 澤 寛 之	岐 阜 大 学	教 授	社会心理学	社会心理学・教育心理学・犯罪心理学、特に子どもの問題行動や社会性と影響する環境要因に関する研究
柳 沼 良 太	岐 阜 大 学	教 授	道德教育	問題解決的な学習及び体験的な学習を活用した道德科の指導法について理論面と実践面から検討する
横 松 友 義	岡 山 大 学	教 授	幼児教育	幼児教育学、特にカリキュラム・マネジメント及び保育者研修に関する教育
塩 路 晶 子	鳴門教育大学	教 授	幼児教育	幼児教育学、特に進歩主義教育史に関する研究
飯 野 祐 樹	兵庫教育大学	准教授	幼児教育	保育の質の観点から国際的な幼児教育・保育の比較研究
山 本 一 成	滋 賀 大 学	准教授	幼児教育	幼児教育学、特に保育環境論、生命論、ESD、生態想像力に関する研究
田 村 隆 宏	鳴門教育大学	教 授	幼児心理	幼児心理学、特に幼児の語彙学習過程に関する研究及び子育て支援に関する研究
木 村 直 子	鳴門教育大学	准教授	幼児心理	幼児心理、家族心理、児童福祉・子ども家庭福祉、特に子どものウェルビーイングに関する研究
西 山 修	岡 山 大 学	教 授	保育内容の研究	保育内容学、特に幼児の人や環境と関わる力の発達とその支援、保育者の専門性や成長に関する研究
水 落 洋 志	兵庫教育大学	准教授	保育内容の研究	保育学、発育発達学、特に保育者の情報処理システムの熟達過程ならびに乳幼児の運動発達に関する研究
馬 場 訓 子	岡 山 大 学	准教授	保育内容の研究	保育内容「健康」の研究、特に乳幼児期の健康教育・安全教育及び保育者の役割や援助に関する研究
水 落 芳 明	上越教育大学	教 授	教科教育学	教科教育学、特に教科教育における ICT を活用した学習デザインと評価に関する研究
大 島 崇 行	上越教育大学	教 授	教科教育学	教科教育学、初等中等教育学、特に ICT を活用した授業分析による学習設計に関する研究
加 納 圭	滋 賀 大 学	教 授	教科教育学	科学コミュニケーション学、特に科学教育、アクティブラーニング、パブリックエンゲージメントに関する研究
内 海 志 典	岐 阜 大 学	准教授	教科教育学	理科教育学、特に科学カリキュラム開発及び理科授業設計に関する研究
石 川 彰 彦	岡 山 大 学	教 授	教科内容学	産業と科学教育、特に有機化学、環境化学教育、科学リテラシーに関する研究
勝 見 健 史	兵庫教育大学	教 授*	教育方法学	教育方法学、特に国語科における学習評価論（教育的鑑識眼）に関わる実践的研究
芥 川 祐 征	岐 阜 大 学	准教授	学校経営	学校経営学、特に学校管理職を含む教員の養成・研修（現職教員）及び免許・検定制度に関する研究
森 本 哲 介	兵庫教育大学	准教授	キャリア教育	キャリア教育、特にポジティブ心理学における「強み」を応用した自己形成・キャリア形成支援の研究
井 澤 信 三	兵庫教育大学	教 授	特別支援教育	障害児心理学、特に自閉症に対する応用行動分析学に基づいた支援方法に関する研究

- (注) 1 職名については、令和 8 年 10 月 1 日現在の職名を示す。
2 職名に * を付した教員は、研究指導を令和 11 年 3 月 31 日まで行う予定であることを示す。

教科教育実践学専攻
言語系教育連合講座

主指導教員氏名	所属大学	職 名	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
菅 井 三 実	兵庫教育大学	教 授	国語学 (日本語教育学を含む)	現代日本語学、特に一般的な認知能力と言語能力との相互作用に着目した構文レベルの総合的研究
白 井 伊津子	兵庫教育大学	教 授	国文学	日本古代文学、特に和歌の修辞表現、中国文学受容に関する研究
木 村 功	岡 山 大 学	教 授	国文学	日本近代文学、特に明治期の文学、漱石文学に関する研究
松 田 聡	岡 山 大 学	教 授	国文学	日本古典文学、特に万葉集に関する研究
土 屋 聡	岡 山 大 学	教 授	国文学	漢文学、特に中国古代・中世の詩文及び文人に関する研究
渡 部 洋一郎	上越教育大学	教 授*	国語科教育	国語科教育学、特に思考表出に関する原理研究及び効果的な授業分析に関する国語科授業研究
幾 田 伸 司	鳴門教育大学	教 授	国語科教育	国語科教育学、特に国語教科書史、国語教材史、教材研究論に関する研究
浮 田 真 弓	岡 山 大 学	教 授	国語科教育	国語教育史、特に旧制中学校、高等女学校の国語科に関する研究
小 林 一 貴	岐 阜 大 学	教 授	国語科教育	国語科教育学、特に書くことの教育学、書くことの学習指導、書くことの授業分析に関する研究
池 田 匡 史	岡 山 大 学	准教授	国語科教育	国語科教育、特に戦後国語科における単元学習論の展開を明らかにする歴史的研究
中 村 浩一郎	兵庫教育大学	教 授	英語学	英語学、特に比較統語論
橋 本 大 樹	上越教育大学	准教授	英語学	英語音声学、特に英語学習者の発音に関する研究及びそれらを説明する心的モデル(理論)構築に関する研究
吉 田 達 弘	兵庫教育大学	教 授	英語科教育	英語科教育、特に社会文化的理論による教室研究及びカリキュラム研究
山 森 直 人	鳴門教育大学	教 授	英語科教育	英語教育学、特に英語科授業研究、英語科教師教育に関する分野
近 藤 暁 子	兵庫教育大学	准教授	英語科教育	英語科教育、特に外国語習得における個人差要因の影響とそれに応じた指導法の研究

(注) 1 職名については、令和8年10月1日現在の職名を示す。
2 職名に*を付した教員は、研究指導を令和11年3月31日まで行う予定であることを示す。

教科教育実践学専攻
社会系教育連合講座

主指導教員氏名	所属大学	職 名	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
原 田 昌 博	鳴門教育大学	教 授	歴 史	ドイツ現代史、特にワイマル共和国時代におけるナチズムの台頭原因に関する研究
町 田 哲	鳴門教育大学	教 授	歴 史	日本近世史、特に地域社会論、村落史に関する研究
村 井 良 介	岡 山 大 学	教 授	歴 史	日本中世史、特に戦国期の権力に関する研究
山 縣 耕太郎	上越教育大学	教 授*	地 理	自然地理学、特に地形学、環境変遷史、自然環境と人間生活との関係に関する研究
川 田 力	岡 山 大 学	教 授	地 理	人文地理学、特に社会・文化事象の地域的差異及び都市開発地域の空間変容に関する研究
松 多 信 尚	岡 山 大 学	教 授	地 理	地形学、特に変動地形学、災害の地理学、自然環境と文化・社会との関係に関する研究
畠 山 輝 雄	鳴門教育大学	教 授	地 理	人文地理学、特に社会地理学、行政地理学に関する研究
上 野 友 也	岐 阜 大 学	教 授	政 治	政治学、国際政治学、特に冷戦終結以後の武力紛争と人権の保障に関する研究
吉 田 昌 幸	上越教育大学	教 授	経 済	経済学、特に 20 世紀の経済思想、貨幣論に関する研究
永 田 夏 来	兵庫教育大学	教 授	社会学	家族社会学、特にポスト近代社会における家族の多様化と未婚化・晩婚化に関する実証的研究
森 秀 樹	兵庫教育大学	教 授*	哲学倫理学	哲学（現代哲学）、特に現象学に関する研究、並びに他者にさらされる中で形成される自己の構造の研究
山 内 敏 男	兵庫教育大学	教 授	社会科教育	社会科教育学、特に歴史教育、教師教育に関する研究
伊 藤 直 之	鳴門教育大学	教 授	社会科教育	社会科教育学、特に市民性育成に係る地理教育課程編成の研究
山 田 秀 和	岡 山 大 学	教 授	社会科教育	社会科教育学、特に社会系教科のカリキュラム論、授業構成論に関する研究
福 田 喜 彦	兵庫教育大学	教 授	社会科教育	社会科教育学、特に授業実践及び学習活動の歴史に関する研究
井 上 奈 穂	鳴門教育大学	教 授	社会科教育	社会科教育学、特に授業実践及び学習活動の評価に関する研究

(注) 1 職名については、令和 8 年 10 月 1 日現在の職名を示す。
2 職名に * を付した教員は、研究指導を令和 11 年 3 月 31 日まで行う予定であることを示す。

教科教育実践学専攻
自然系教育連合講座

主指導教員氏名	所属大学	職 名	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
林 田 秀 一	上越教育大学	教 授	代数学	整数論、特に保型形式及び保型 L 関数の研究
吉 川 昌 慶	兵庫教育大学	教 授	代数学	代数学、特に代数的組合せ論に関する研究
宮 内 通 孝	岡 山 大 学	教 授	代数学	代数学、特に p- 進体上で定義された代数群の表現論の研究
長谷川 武 博	滋 賀 大 学	教 授	代数学	代数学、特に有限体上の代数曲線及びグラフのゼータ関数に関する研究
仲 田 研 登	岡 山 大 学	准教授	代数学	代数学、特に表現論の研究に基づく数理論の形成過程及び現代数学の新しい考え方・視野に関する研究
濱 中 裕 明	兵庫教育大学	教 授	幾何学	代数的位相幾何学が本来の専門だが、現在は教材研究も念頭に、組み合わせ論や離散幾何学など幅広く扱っている
田 中 利 史	岐 阜 大 学	教 授	幾何学	位相幾何学、特に低次元多様体の幾何的性質に関する研究
中 川 征 樹	岡 山 大 学	教 授	幾何学	代数的位相幾何学、特にリー群の等質空間等の位相的性質に関する研究
斎 藤 敏 夫	上越教育大学	教 授	幾何学	位相幾何学、特に3次元多様体の位相的及び幾何的性質に関する研究
篠 原 雅 史	滋 賀 大 学	教 授	幾何学	離散幾何学、特に空間における点の配置問題に関する研究
花 木 良	岐 阜 大 学	准教授	幾何学	位相幾何学、特に結び目理論、空間グラフ理論に関する研究及び数学科教材開発と教科内容学
山 田 雅 博	岐 阜 大 学	教 授	解析学	関数空間の解析、特に関数空間及びその上の作用素の解析
中 村 登	岡 山 大 学	教 授	解析学	関数解析学、特に作用素論における作用素単調関数と作用素平均に関する研究
田 中 晴 喜	鳴門教育大学	准教授	解析学	解析学、特に確率論及びエルゴード理論に関する研究
菱 川 洋 介	岐 阜 大 学	准教授	解析学	解析学、特に関数空間論や複素解析に関する研究
秋 田 美 代	鳴門教育大学	教 授	数学科教育	数学教育学、特に算数・数学科教育における学習指導法、教材開発、評価法等に関する研究
稲 田 佳 彦	岡 山 大 学	教 授	物理学	物性物理学、特に超伝導、磁性、重い電子系等の強相関電子物性に関する研究
伊 藤 恵 司	岡 山 大 学	教 授	物理学	材料物性学、特に中性子や X 線等の量子ビームを利用した機能性材料の研究
恒 川 雅 典	滋 賀 大 学	教 授	物理学	物性物理学、特に放射光等を利用した電子分光による強相関電子系化合物や高機能性材料の研究
徳 田 陽 明	滋 賀 大 学	教 授	物理学	応用物理学に関する教育研究
小 川 佳 宏	上越教育大学	教 授	物理学	物性物理学、特に固体のレーザー分光の研究
小和田 善 之	兵庫教育大学	教 授*	化 学	機能物質化学、特にアモルファス材料の構造及び無機機能物質の電子状態と物性に関する研究
糸 乗 前	滋 賀 大 学	教 授	化 学	化学、有機化学反応を利用した物質分離と質量分析法及び核磁気共鳴法による化学構造解析に関する研究
山 口 忠 承	兵庫教育大学	教 授	化 学	機能性有機材料学、特に有機光化学に関する研究
徳 田 陽 明	滋 賀 大 学	教 授	化 学	無機化学・物理化学に関する教育研究
安 藤 元 紀	岡 山 大 学	教 授	生物学	生理学、特に動物の体を構成する細胞・組織・器官の構造と機能の連関に関する研究

(注) 1 職名については、令和8年10月1日現在の職名を示す。
2 職名に * を付した教員は、研究指導を令和11年3月31日まで行う予定であることを示す。

主指導教員氏名	所属大学	職 名	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
糸 乗 前	滋 賀 大 学	教 授	生物学	生化学、特に無脊椎動物の生体成分である糖質・脂質・糖脂質の構造と機能に関する研究
米 延 仁 志	鳴門教育大学	教 授*	地 学	第四紀における自然史における高精度年代測定と環境復元を行い、環境変動と人類との関わりを研究
濤 崎 智 佳	上越教育大学	教 授	地 学	天文学、特に観測に基づいた銀河・星間物質の構造と進化に関する研究
山 本 智 一	兵庫教育大学	教 授	理科教育	理科教育学、特に理科学習における科学的な説明能力の育成に関する研究
山 田 貴 之	上越教育大学	教 授	理科教育	理科教育学、特に児童生徒の科学的な探究能力の育成に関する研究
川 崎 弘 作	岡 山 大 学	准教授	理科教育	理科教育学、特に科学的思考力の育成、概念変容、人間性の涵養等に関わる指導と評価に関する研究

- (注) 1 職名については、令和8年10月1日現在の職名を示す。
2 職名に*を付した教員は、研究指導を令和11年3月31日まで行う予定であることを示す。

教科教育実践学専攻
芸術系教育連合講座

主指導教員氏名	所属大学	職 名	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
尾 崎 祐 司	上越教育大学	教 授	音楽科教育	音楽教育学、特に学校音楽科教育におけるインクルーシブ教育に関する授業の実践学的研究
鉄 口 真理子	鳴門教育大学	教 授	音楽科教育	教育実践学、特に音楽科の授業構成、学習方法に関する研究
早 川 倫 子	岡 山 大 学	教 授	音楽科教育	音楽科教育、特に乳幼児教育から児童期にかけての音楽的発達と音楽カリキュラムに関する研究
馬 淵 哲	滋 賀 大 学	教 授	絵 画	絵画、特にテンペラ・油彩などの技法の習得及び知識構成型ジクソー法を活用した授業デザインに関する研究
大 西 久	兵庫教育大学	教 授	絵 画	絵画、特に形象、色彩、素材等の相互作用による表現の多様性及び深化に関する研究
前 芝 武 史	兵庫教育大学	教 授	彫 刻	彫刻、特に塑造実技による具象彫刻の制作を主軸とした、彫塑造形論・彫塑教育論に関する研究
松 尾 大 介	上越教育大学	教 授	彫 刻	彫刻、特に実材を中心とした彫刻制作、彫刻の教材に関する研究
藤 田 雅 也	岡 山 大 学	教 授	彫 刻	彫刻、特に学校教育における立体造形や彫刻の表現活動と鑑賞活動の教材開発及びカリキュラムに関する研究
家 崎 萌	鳴門教育大学	准教授	彫 刻	場や空間、他者とかかわる造形表現、造形を介して形成される場とコミュニケーションに関する美術教育
内 藤 隆	鳴門教育大学	教 授*	デザイン	デザイン、特にグラフィックデザイン及び映像に関する研究
山 本 政 幸	岐 阜 大 学	教 授	デザイン	デザイン、特に視覚伝達デザイン及びタイポグラフィに関する研究
浅 海 真 弓	兵庫教育大学	教 授	工 芸	工芸の造形表現としての特性を活かした製作と教材開発に関する研究
隼 瀬 大 輔	岐 阜 大 学	准教授	工 芸	工芸制作に関する研究、特に木工芸、工芸教育に関する研究
清 田 哲 男	岡 山 大 学	教 授	美術科教育	美術科教育、特に子どもの成長に応じた教材開発及びカリキュラムに関する研究
家 崎 萌	鳴門教育大学	准教授	美術科教育	場や空間、他者とかかわる造形表現、造形を介して形成される場とコミュニケーションに関する美術教育

(注) 1 職名については、令和8年10月1日現在の職名を示す。
2 職名に*を付した教員は、研究指導を令和11年3月31日まで行う予定であることを示す。

教科教育実践学専攻
生活・健康系教育連合講座

主指導教員氏名	所属大学	職 名	教 育 研 究 分 野	
			名 称	内 容
中 須 賀 巧	兵庫教育大学	准教授	体育学	体育・スポーツ心理学、特にスポーツ教育実践における動機づけ雰囲気に関する研究
吉 本 隆 哉	兵庫教育大学	准教授	運動学	バイオメカニクス、特にスプリント走における時空間変数、キネマティクス・キネティクス変数に関する研究
松 浦 亮 太	上越教育大学	准教授	運動学	運動神経生理学、特にヒトの筋疲労メカニズムの解明とその生物学的意義の検討
林 陵 平	岐 阜 大 学	准教授	運動学	特に子どもや成人アスリートまでを対象としたトレーニング学及びコーチング学的研究
三 村 由香里	岡 山 大 学	教 授	学校保健	学校保健医科学、特に成長・発達における内分泌環境の影響に関する研究
松 枝 睦 美	岡 山 大 学	教 授	学校保健	学校保健医科学、特に発達過程に即した学校看護に関する研究
上 村 弘 子	岡 山 大 学	教 授	学校保健	養護実践学、特に学校における保健管理、保健指導に関する研究
岡 本 希	兵庫教育大学	教 授	学校保健	学校保健医科学、特にライフステージ別の健康づくりに関する研究
大 平 雅 子	滋 賀 大 学	教 授	学校保健	人間の生体情報・生理状態の計測による評価研究、就寝環境（光・香り・音楽等）デザインに関する研究
辻 延 浩	滋 賀 大 学	教 授*	保健体育科教育	保健体育科教育学、特に体育科における課題解決的学習の方法原理に関する教育
周 東 和 好	上越教育大学	教 授	保健体育科教育	保健体育科教育学、特に体育授業における動きの学習指導に関する研究及び教師の授業実践力に関する研究
酒 向 治 子	岡 山 大 学	教 授	保健体育科教育	保健体育科教育、特に舞踊教育学、身体表現に関する研究
入 江 隆	岡 山 大 学	教 授	技術教育内容学	電子計測学、特に生体計測とそのデータ解析に関する研究
宮 本 賢 治	鳴門教育大学	教 授	技術教育内容学	電気工学、特にプラズマ理工学と電子・イオンビーム光学に関する研究
森 太 郎	滋 賀 大 学	教 授	技術教育内容学	栽培学、特に作物栽培における環境保全・高品質化・省力化技術の開発と栽培学習に関する研究
野 毛 宏 文	岡 山 大 学	准教授	技術教育内容学	機械工学、特にエネルギー変換や STEM 教材の開発に関する研究
美井野 優	鳴門教育大学	准教授	情報教育内容学	非線型シミュレーション、特にカオス、ハイブリッド力学系の数値解析に関する研究
岳 野 公 人	滋 賀 大 学	教 授	技術・情報教育学	技術教育学、特に学習者の認知過程に関する研究
東 原 貴 志	上越教育大学	教 授	技術・情報教育学	技術科教育学、特に木材加工に関する教材及び学習方法に関する研究
阪 東 哲 也	鳴門教育大学	准教授	技術・情報教育学	技術を軸とした教科横断的な問題解決学習に関する研究、個人特性を踏まえた授業における ICT 活用に関する研究
西 川 和 孝	鳴門教育大学	教 授	家庭科内容学	食品学、栄養学及び調理学、特に食品中の成分の抗酸化及び抗菌活性に関する研究
久 成 三有紀	岡 山 大 学	准教授	家庭科内容学	食物学、食生活に関する研究
速 水 多佳子	鳴門教育大学	教 授	家庭科内容学	家庭科教育学、特に小・中・高等学校の授業開発研究
永 田 智 子	兵庫教育大学	教 授	家庭科内容学	小中高等学校における家庭科教育の授業方法や授業研究の方法論に関する研究

(注) 1 職名については、令和 8 年 10 月 1 日現在の職名を示す。
2 職名に * を付した教員は、研究指導を令和 11 年 3 月 31 日まで行う予定であることを示す。

11. 学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和6年法律第69号）について

こども性暴力防止法の施行により、2026年12月25日より、学校や保育所、学習塾など、こどもに対して教育、保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められることから、本学においても、次のとおり対応する。

- ・入学前及び入学時に性犯罪前科がない旨の誓約書やその同意書について提出を求めること。

12. 不正行為に関する注意事項について

次の行為は、不正行為とする。また、不正行為が発覚した場合、または、その疑いがあると面接委員が判断した場合は、試験の中断、失格、入学許可の取り消し等の措置の他、警察に被害届を提出することがある。

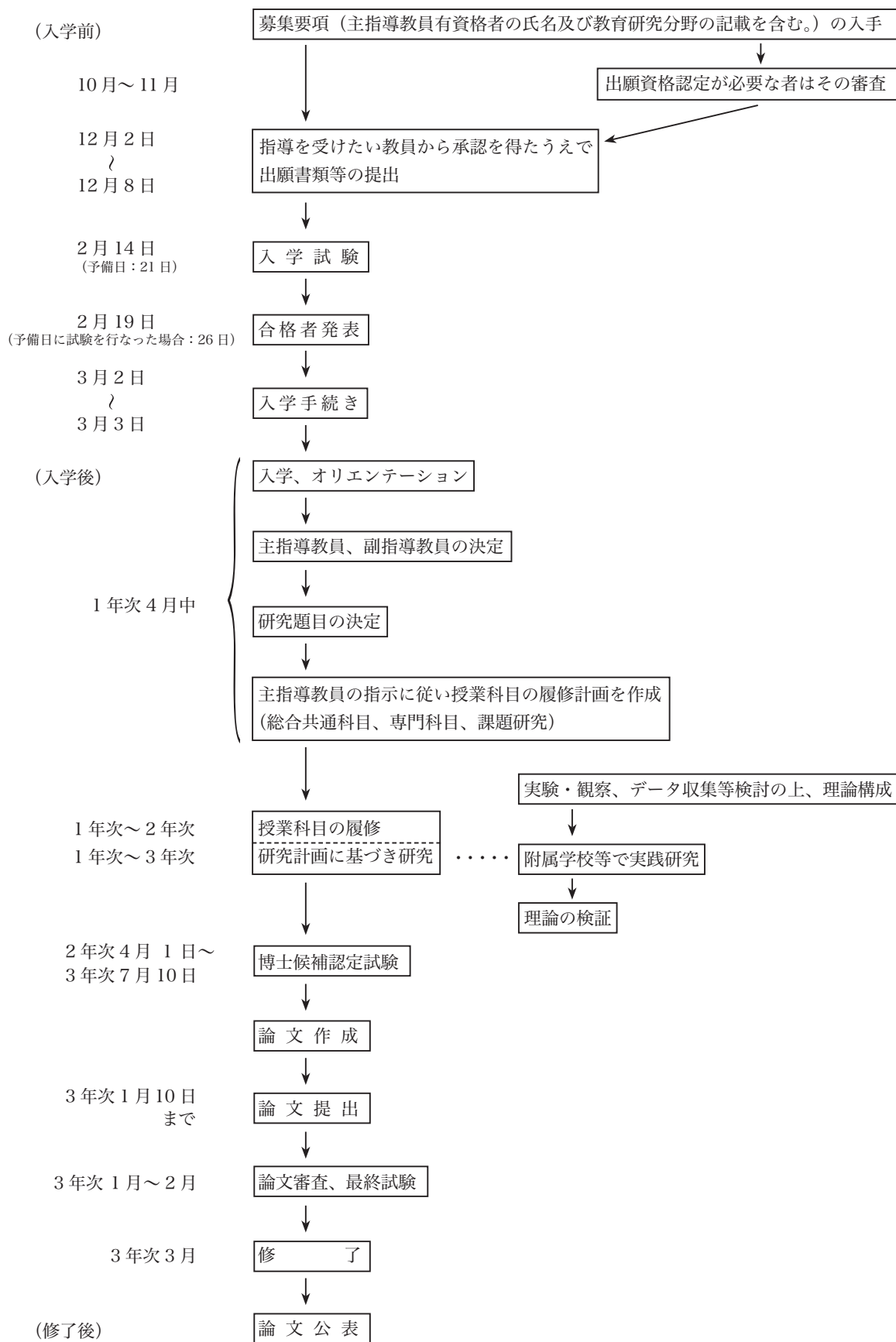
- ア 本募集要項及び受験者心得に不正行為として扱っていると記載していること。
- イ 試験中、本学試験委員以外の者と通信（口頭、チャット、通話その他手段を問わない）すること。
- ウ 試験中、「受験票」、「写真付きの公的な身分証明書」及び「受験する連合講座が認めたもの」以外を手元や視界内に置くこと。
- エ 試験中、Zoomの接続に使用する以外の電子通信機器（ウェアラブル端末を含む）を使用すること、または、使用可能な状態で手元や視界内に置くこと。
- オ 試験中、次の行為を行うこと。
 - ・試験委員の指示に従わないこと。
 - ・Zoom以外のアプリケーションを起動または使用すること。
 - ・画面分割、仮想環境等を利用すること。
 - ・試験の録画、録音及び画面キャプチャを実施すること。
 - ・バーチャル背景の使用や映像を加工すること。
 - ・面接委員からの指示なく、試験中にキーボード等の入力操作をすること。
 - ・試験中にインターネット検索、生成AIその他外部サービスを利用すること。
- カ 受験者以外の者が受験すること。または、受験者以外の者になりすますこと。
- キ ZoomのミーティングIDやパスワードを含む試験に関する情報を漏洩させる（SNSによる配信等も含む）こと。
- ク その他、本要項及び受験者心得に明示されていない場合であっても、本学が試験の公正性・公平性を損なうと合理的に判断する一切の行為

< 付録 > 令和 8 年度入学試験実施状況

[単位: 人]

専攻・連合講座名		募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
学校教育実践学	学校教育方法	12	6	6	4	4
	学校教育臨床		9	9	7	7
先端課題実践開発	先端課題実践開発	6	9	9	6	6
教科教育実践学	言語系教育	18	4	4	2	2
	社会系教育		2	2	2	2
	自然系教育		3	3	3	3
	芸術系教育		6	6	5	5
	生活・健康系教育		8	8	7	7
合 計		36	47	47	36	36

(参考) 受験から修了までの経過図



〔問い合わせ先〕

・入試に関する事項

兵庫教育大学入試課

(0795) 44-2067

・フレックスタイム・カリキュラム制度、授業内容に関する事項

兵庫教育大学学務課連合大学院チーム

(0795) 44-2038

・奨学制度に関する事項

兵庫教育大学学生支援課

(0795) 44-2051

※入学料免除・授業費免除及び奨学金の詳細は兵庫教育大学の Web サイトをご覧ください。

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 Web サイト URL

<https://www.hyogo-u.ac.jp/rendai/>